



Mito City International Association

(財)水戸市国際交流協会機関紙

第29号

2007.11.

水戸市・アナハイム市学生親善大使の交流



アナハイム市学生親善大使来水

水戸市学生親善大使派遣に先立ち、2007年6月30日から7月13日の日程でアナハイム市から高校生6名と引率教師1名が、来水しました。高校生たちは、ホームステイをしながら、市内の小中学校への訪問などを通じて、水戸市民と交流し、日本文化や日本の生活様式などを体験しました。

〈アナハイム市学生親善大使〉

Collette Hanson (18歳 女性)	Linda Munoz (16歳 女性)
Diana Cabrera (18歳 女性)	Christopher Barrett (18歳 男性)
Tiffany Jones (18歳 女性)	Alex Tran (17歳 男性)
(引率教師) Marne Colby 小学校教諭	

【日 程】

6/30(土)	来日
7/1(日)	ホストファミリーと過ごす
7/2(月)	千波小学校、千波中学校 (授業参加、歓迎会、給食、日本の遊び体験)
7/3(火)	水戸桜ノ牧高校授業参加
7/4(水)	市内見学 (見和図書館、市役所、水戸芸術館、茨城県庁、水戸市植物公園)
7/5(木)	午前：水戸市役所へ表敬訪問 午後：アクアワールド大洗見学
7/6(金)	東京見学 (原宿・浅草)
7/7(土)	午後：水戸市学生親善大使との交流会 夕方：ウェルカムパーティー
7/8(日)	ホストファミリーと過ごす
7/9(月)~11(水)	水戸桜ノ牧高校 (授業参加、野球応援、日本文化体験)
7/12(木)	ホストファミリーと過ごす
7/13(金)	帰国

水戸市学生親善大使派遣

水戸市学生親善大使のアナハイム市への派遣は、昭和63年(1988)に始まりました。19回目にあたる今回は、7月27日から8月12日までの17日間、15名の高校生・大学生がアナハイム市民の家庭にホームステイしました。学生親善大使は、水戸市の代表としてアメリカの歴史や文化を学び、小学校や博物館の見学、メジャーリーグ観戦などを通して、相互理解と友好親善を深めました。

〈水戸市学生親善大使〉

阿部 琴 恵(大学2年) 市毛 麻衣(高校2年) 岩 淵 みづき(大学2年) 遠 藤 有 香(高校3年)
大久保 隆 史(高校2年) 大 冨 美 究(高校2年) 岡 部 成 子(高校2年) 小 貫 あいり(高校1年)
桑 原 悠 暉(高校1年) 小 暮 祐 大(高校2年) 小 室 さゆみ(高専3年) 小 山 千 秋(大学2年)
佐 川 暢 保(高校1年) 林 篤 史(大学4年) 藤 田 愛 (大学2年)

(団長) 圓尾 康子 水戸市立石川中学校教諭

Special
Interview!!

「アナハイムでホームステイを体験してきた学生に生の声を聞きました」

親善大使: 大久保 隆史、市毛 麻衣、小山 千秋
インタビュアー: 加藤木さやか(協会職員)

—実際にアナハイムへ行ってみて感じたことは?

大久保: 日本にいと外国の方と話す機会があまりないので、アナハイムへ行って同世代から年配の方まで話すことが出来てとても楽しかったです。人々の温かさに触れ、新しい発見もありましたし、偏った先入観がなくなりました。

小山: 学校で勉強している英語と実際にアメリカの生活で使う英語は違いがあると感じました。難しい単語を知らなくても簡単な英語で十分会話ができるんです。

市毛: 英語が完璧に話せなくても、相手が理解しようと努力してくれたことがすごく嬉しかったです。あと、私はアメリカへ行くまでは生活も感覚も日本とあまり変わらないのかなと思っていましたが、意外に違いが多くて驚きました。

—例えばどんなこと?

市毛: 靴のまま家に入ったり、家の中に当たり前には驚きました! 紙皿の使い方など、少しもったいなくも感じました。

小山: 確かにもったいないといえば、食べ物に関しても明らかに食べ切れない量を作って結局捨てていました…。お店で出てくる量もすごかったです。文化に関していうなら、アメリカ人は日本人に比べて感情表現がとても豊かです。家族で映画館に行った時、お父さんは周りなんて気にせず大声で笑っていました。



—日本人は笑いたくても周りを気にしがち…それも明らかに文化の違いだね。実際アメリカに行ってみて、外から見た日本はどう感じた?

大久保: アメリカは広い公園がある割に、意外と緑が少なかった。日本は緑が多いと感じました。

市毛: 日本にいと感じないけれど(時に面倒に感じるけれど)時間のルーズさなど、アメリカの大雑把な部分を見ると、日本人の細かさや几帳面なところはいい部分なのかもしれないと思いました。

—そうだね。滞在中は毎日アメリカについて勉強していたと思うけど、授業はどうだった?

全員: とても充実していました。自分達ができる範囲の内容だったので、授業の中でコミュニケーションを図れて、アメリカのことを沢山知ることが出来ました。

市毛: 私は人前で話すようなタイプではなかったですし、今までそういった機会もなかったけれど、授業が楽しくて自分でも驚くほど話していました。

—いつの間にか積極的になっていたんだね。ホストファミリーとはどんな話をしたの?

大久保: スポーツの話はよくしていました。地元チームの応援(野球や хоккеー)がすごかったです。試合は毎晩チェックしていたし、とにかく盛り上がりしていました。

市毛: 私はホストシスターと年齢が近かったので、今日本で流行っているドラマやマンガの話で盛り上がりました。私よりも詳しくて驚きました!

小山: 私のホストブラザーも日本のアニメに夢中でした。

—ところで、大使のメンバーとは仲良くなった?

市毛: アナハイム市学生親善大使の歓迎会で昨年の水戸市学生親善大使を見て、こんな風に仲良くなれるのかと思っていましたが、そんな心配は不要でした。

大久保: アメリカに着いてすぐにみんなと別れ、それぞれのホストファミリーと英語漬けの週末を過ごしたので、月曜日のクラスで他の大使たちに会えるのが待ち遠しかったです。

小山: そうそう、会いたかったよーってね。2週間、苦勞も楽しさもみんなで共有したからこそ、こんなに仲良くなれたと思います。

市毛: 心から信頼できる仲間が出来ました。

—今回の体験を生かして、これからチャレンジしてみようと思うことは?

小山: 自分に出来るのかは分からないけれど、通訳ボランティアに挑戦してみたいです。

市毛: 英会話を始めようと思っています。

大久保: 英検やTOEICに挑戦してみようと思っています。ホストファミリーとのやりとりも継続し、できるだけ英語に触れていきたいです。



メジャーリーグ観戦:エンゼルスvsレッドソックス
(松坂選手、岡島選手と一緒に)

—これから応募する学生へのアドバイスは?

小山: 知っている英語でも十分話せるので、終わる頃に後悔しないように、恥ずかしがらずに最初からどんどん英語を話して欲しいですね。

市毛: 迷うことなく応募して欲しいです!

大久保: まずは積極的に話してみることを。自分に合わせてもらうのではなく、自分が相手に合わせていこうという気持ちで頑張りたいです。

—アナハイムの皆さんにメッセージをどうぞ

全員: いつかアナハイムに戻りたい! 待っててね!

皆さん、貴重な体験をたくさんしてきたようですね。今回の経験を生かして、これからも様々なことに積極的にチャレンジしてくださいね。ありがとうございました。



(左から) 加藤木さやか、大久保 隆史、市毛 麻衣、小山 千秋

〔日 程〕	
7/27(金)	カリフォルニア州アナハイム市へ
7/28(土)	ホストファミリーと過ごす
7/29(日)	ホストファミリーと過ごす、バーベキューパーティー
7/30(月)	授業(自己紹介、週末の報告、アメリカのシンボル)
7/31(火)	午前: サンキスト小学校見学 午後: 授業(アメリカの祝日)、アナハイム市議会訪問
8/1(水)	ユニバーサルスタジオ
8/2(木)	午前: 授業(ユニバーサルスタジオの感想、同年代のアメリカ人との交流) 午後: ギャロウェイ議員との懇談
8/3(金)	午前: 授業(ホストファミリーへのインタビュー発表、ゲーム) 午後: ビーチパーティー
8/4(土)・5(日)	ホストファミリーと過ごす
8/6(月)	デイズニールランド・カリフォルニアアドベンチャー 午前: 授業(デイズニールランドの感想、アメリカの著名人) 午後: アナハイム市長との懇談
8/7(火)	エンゼルススタジアム(レッドソックスの松坂・岡島両選手と会う) 午前: 授業(野球観戦ポスター作り)、ニクソン大統領記念館 午後: ネイチャーセンター
8/8(水)	メジャーリーグ観戦(エンゼルス対レッドソックス) 午前: 授業(アメリカ著名人の発表、メジャーリーグ観戦の感想など)、 ファーマーズ・マーケット
8/9(木)	午後: 水戸橋見学 セドゥー議員宅でのパーティー
8/10(金)	午前: 授業(ホストファミリーへの手紙) 午後: サヨナラパーティー
8/11(土)・12(日)	帰国

◆国際交流パーティー

9月29日(土)「お月見」をテーマに国際交流パーティーを開催しました。韓国・中国料理なども用意し、日本文化体験コーナーでは、外国人が初めて浴衣を着て、茶道・書道などを楽しみ市民と交流しました。



◆やさしく学ぶ世界遺産講座 ～中国・カンボジア編

水戸から世界のMITOへ～

10月12日から毎週金曜日4回シリーズで、中国の殷墟とカンボジアのアンコールワットについて、また11月9日(金)には、世界遺産登録を目指す水戸市の旧弘道館と偕楽園について学びました。



◆親と子の国際講座

～世界のおばけとあそぼう～

10月21日(日)に市内の幼稚園生と小学生の親子が参加し、世界各地で伝えられている、さまざまなおばけの物語をとおして、文化や習慣の違いを学びました。



今後の行事予定

◆世界の文化と芸術講座

水戸芸術館の協力を得て、世界の歴史・文化、クラシック音楽について学びます。

1月～2月予定



◆国際交流のつどい

国際理解を深めるために、講演会や国際交流団体活動紹介・バザー等を開催します。

2月予定



【外国人対象】For Foreign Residents

◆日本料理教室

～Japanese Cooking Class～
一緒に日本料理を作りましょう!

1月予定



◆スキーツアー

～Ski Tour～

白銀の世界でスキーを楽しみませんか。

2月予定



◆市内ウォッチング

～City Tour For Introducing Public Facilities～

水戸リサイクル館や大串ふれあい公園を見学します。

3月予定

Looking for Guest Teachers!

We are looking for foreign residents who will be able to go to elementary schools as guest teachers.

Through the guest teacher program, students learn about foreign cultures and life-styles from the guest teachers.

If you are interested in this program, please contact us at the office.

◇機関紙へのご意見や感想をお待ちしています。

開館時間：午前9時から午後9時まで

休館日：月曜日、祝日

〒310-0024 水戸市備前町6-59

水戸市国際交流センター内

(財)水戸市国際交流協会

Tel:029-221-1800 Fax:029-221-5793

<http://www.mitoic.or.jp/>

E-mail: mcia@mito.ne.jp

水戸市国際交流センター案内図

Area Map & Transportation Guide

